追浜駅周辺グランドデザイン

~地域懇談会成果報告~ 第1号

「一緒にまちの将来像を話し合いませんか!?」というテーマのもと地域懇談会を開催いたしました。

地域懇談会の理想は一人ひとりの意見をすべて聞くことです。よって皆様の課題・将来像を限りなく伺う手法を検討した結果、グループワークをおこないました。

令和2年8月23日、24日追浜コミュニティセンター北館にて開催し、傍聴席を含めて両日で105名の方々に参加いただきました。

まず始めに、スライドを活用し、グランドデザインのゾーニング案から追浜地域で行われる予定の8つの事業概要を説明いたしました。

その後、グループワークを各班でおこないました。グループワークでは、追浜駅周辺の大きい地図に地域住民の方々が思う課題を付箋の上段に書き、下段に課題を解決するための理想の将来像を描いてもらいました。

当日はルールを設けて議論をおこないました。ルールは 楽しく前向きに議論するや相手を非難しないなどを設けま した。

皆様がルールを順守していただき、どのテーブルでも活発で前向きな意見が飛び交いました。

最後に班ごとの共通課題と将来像を2、3枚に整理して いただき、各班の意見を統合した

全体の理想が詰まった1枚の絵を完成させました。

※説明資料の詳細は別添の当日資料を確認ください。







今後の予定

成果報告については、グランドデザイン策定の進行状況 や皆様の意見から出た意見回答について、分割して発行 する予定です。

最終号では皆様の意見を最大限反映させた「追浜駅周辺グランドデザイン」概要版を発行いたします。

お問い合わせ

横須賀市 経営企画部まちづくり政策課 TEL:046-822-9952(直通) E-mail:ur-ci@city.yokosuka.kanagawa.jp 担当:市街地整備第1担当 加茂

両日の課題・将来像については次ページ以降でご紹介します。

地域懇談会での各班のグループワーク結果

■23日(1日目)

両日で392枚の付箋がありました!















■24日(2日目)









23日の意見のまとめ



自転車危険

自転車通行帯と駐輪場の整備

交通問題

通過交通と生活交通 歩行者と自転車 それぞれが安全に通 行できるように

歩道が狭い、 ゴチャゴチャしてる

自転車専用道整備 バス停・タクシー乗り 場を駅前に

路上駐車が多い

駐車場を増設して ほしい

道路が狭い (歩道、自転車道路)

追浜夏島整備だけでな く、湘南鷹取、雷神社付 近、船越の交通量を考 慮した道路整備として ほしい

横浜横須賀道路の料金が高い

357号延伸を中止し、 横浜横須賀道路無料 の財源としてほしい

交通渋滞

交差点の整備

鷹取川が有効に 活用されていない

緑豊かな散策道が ほしい

鷹取川を 何とかしたい

桜並木やヴェルニー 公園のデッキや平潟 湾は親水性広場にし てほしい

危険でない川

安全性が確保できる 整備を行い、できれ ば歴史と自然を活か す

大人数で集まれる 飲食店がない

ファミレス等がほしい

公共施設の集約

駅前の再開発に

商店街の空き店舗 が増えて バランスが悪い

にぎわいのある 商店街

日用品店が少ない

生活の利便性向上が図れる店がほしい

追浜の文化、歴史遺産が 生かされていない

新たなものを造るだけでなく、今あるものに注目し、外に発信していく取り組みをしてほしい(貝塚緑地、第3海堡)

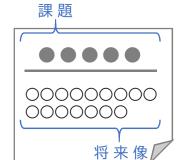
自然は身近にある のに公園がない

自然を活かした1日 ゆっくりできる公園 がほしい

住環境を守る

防災面の強化をして ほしい

- 凡例 -



赤:道路関連

青:鷹取川関連

黄色:建物·商店街· 再開発関連

緑色:公園関連オレンジ:その他

24日の意見のまとめ



駅からの アクセスが悪い

アーケードを改修し、 アーケードの上を歩 けるようにしてほしい

自転車が歩道を走り 歩行者が危ない

自転車レーンを 設ける

道路の歩道が狭い

自転車が安心して走 れる道路整備

歩行者と自転車の 交錯があり危険

歩行者通路と自転車 通路を分ける

川が汚れ、汚い

部分的に暗渠にし、 綺麗な川に屋台船な どの利用を考える

川の整備が不十分、 活かされてない

沿道に合わせたまち づくり 川の魅力を活かす

駅の近くに公共施設がない

駅前に公共施設集約

世代を超えて楽しめる施設がない

大型店や個店を 混ぜた街 (かたよらない)

地元の人間が働き続ける場所

再開開発にオフィス など開設

日常品が買い物 できるお店が少ない

クックパッドマートや 肉屋、八百屋等が ほしい

大型商業施設が 少ない

スーパー、ホームセン ターを増やす。 それに伴って駐車場 がほしい

子供、家族と一緒に遊べる施設が少ない

大きな公園が欲しい

防災関係の サインがない

避難地域の案内板を 設ける

快速特急が止まらない

快速特急をとめる

ブランドイメージがない

他にない魅力を発信する (自然等の資源)新たな施設の省エネルギーなど

子育て世代施設が少ない

育児施設、交流コミュ ニティ施設児童館が ほしい